

令和元年10月 7日

太田市議会議長

久保田 俊 様

太田クラブ 代表 白石さと子 ㊟

会派行政視察報告書

1 期日 令和1年10月2日（火）から10月3日（水）までの2日間

2 視察地 富山県富山市、山形県（寒河江市）

3 視察事項 (1) 富山県富山市

①NIXS スポーツアカデミー

(2) 山形県（寒河江市）

②ストリートスポーツ広場施設

4 参加者 10名

白石さと子 岩崎喜久雄 山田 隆史 町田 正行

正田 恭子 渡辺謙一郎 大川 敬道 中村 和正

木村 浩明 八長 孝之

5 視察概要 別紙のとおり

NIXS スポーツアカデミーの取り組み

(1) 富山県富山市 NIXS スポーツアカデミー 視察概要

○富山市の概要

- ・面積 1241.77K m² (平成 30 年 10 月 1 日現在)
- ・人口 416,212 人 (令和 1 年 8 月末日現在)
- ・世帯数 179,814 世帯 (令和 1 年 8 月末日現在)
- ・市制施行 平成 17 年 4 月 1 日 (置市：明治 22 年 4 月 1 日)
- ・一般会計予算額 平成 30 年度：1,568 億 382 万円
平成 31 年度：1,642 億 3,875 万円
- ・議員定数 38 人
- ・政務活動費 (議員一人当たりの年額) 600,000 円

○視察事項

(1) NIXS スポーツアカデミーの取り組みについて

①施設概要

開所 : 平成 26 年 5 月 1 日

敷地面積：18,663 m²

施設面積：10,526 m²

駐車場 : 111 台

②共用時間

月曜～金曜日：午後 1 時～午後 8 時

土曜 : 午前 10 時～午後 8 時

日曜・祝日 : 午前 10 時～午後 7 時

③休所日

年末年始 (12 月 28 日～翌 1 月 4 日)

(2) 施設内容

・スケートゾーン (5,400 m²)

ストリート、ボウル、ファミリーの 3 つのエリアがあり、スケートボード・インラインスケート、BMX、マウンテンボードの 4 種類の競技を楽しむための専用施設。

設計はカルフォルニアスケートパーク社のビル・ミナデオ氏が設計・監修した国内最大級のスケートエリア。

・ボルダリングゾーン (250 m²)

高さ 5.6m×幅 16m のウォール 1 面

様々な難易度のコース設定ができ、子供から大人まで楽しめるボルダリングゾーン。

・ダンスゾーン (250 m²)

屋根、鏡壁、証明付きステージ。

奥行 4.5m×幅 11m×幅 (ステージ) 高さ 2.3m×幅 10.3m (鏡壁)

ヒップホップダンスやステージを使って発表会などを行うことが出来るダンスゾーン。

・管理棟（105.43 m²）

管理事務所、男子・女子シャワールーム、男子・女子・多目的トイレ

利用者登録証の申請、利用登録証の発行を行う他、各ゾーンを使用の際の受付場所。

個人利用は券売機にて使用券を購入し利用。

（3）取り組み

建設の経緯として、立地場所は元々、イタイイタイ病による汚染された土壤が盛土されていた場所であった。市内のスケートボードは、駅周辺で申請をして楽しまれていたが、駅周辺の再開発により愛好者がスケートボードを楽しむ場所が無くなってしまった事をきっかけに、市にスケートボードパーク場の建設を要望。また、同時期に富山市長がアメリカ、カルフォルニアでの視察の際にスケートボードパーク場を見学し、感銘を受けた事があった。こうした幾つかの経緯が重なり、建設が決まり平成 26 年にオープンとなった。

オープン後は、全国でも最大規模のコンクリートスケートパークとして多くの愛好者に認知されるようになり、各種イベント等も開催され多くの愛好者に利用されて来た。また、当施設ができたことにより競技を始めた中学生の女性が、先日、日本選手権女子ストリート協議で優勝する等の事例も見られる様になった。

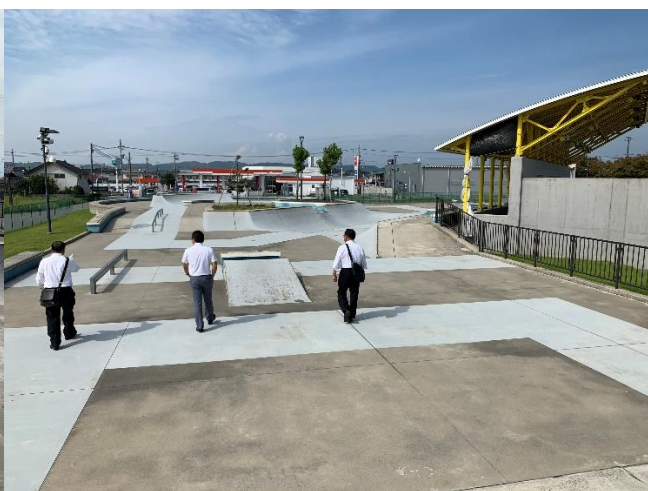
現在では、利用者数の伸び悩みや、北陸特有の積雪により利用できないことがある、屋根がないために天候に左右されやすく、施設自体の経年劣化も目立つようになってきた等の課題が見られる様になってきた。現在では利用収入だけでは運営ができないため、1500 万円の公費が運営に充てられている。また、利用に伴う事故も年間、数件（約 8 件前後）あるが、あくまでも自己責任として対応をお願いしている。（利用する際に書面での同意あり）

（4）所感

スケートボードパークとして、初心者から上級者まで、また、目的別に作られている事から、子供から大人まで、また、一緒に楽しむことが出来る施設となっていた。特に愛好者向けの施設ではなく、本当に一番初めから始められるような広く平らな場所が建設をされている事で、幅の広い方の利用、初心者でも安心して利用が可能となっている事に愛好者だけではない、新たな利用者の獲得、競技だけではなくスポーツとしての楽しみを味わう、そんな色々な気持ちを感じ取ることができた。

また、周りにボルダリングゾーンやダンスゾーンもあり、スケートボードを利用しない方々も利用が出来る、楽しめる場所になっている事から、多くの利用者、特に市民の方々がこの場所を利用する事ができている。そういった方々が初めは違う目的で利用をされたとしても、利用した際にスケートボードを目にする事で興味を持ったり、やってみたいと始めることもあると考える事から、スケートボードパーク以外の建設も改めて必要と感じた。説明の中にもあったが、利用者数の確保。これが今後の一番の課題になると考える。

今回、視察を行わせて頂き、スケートボードパークの設計及び周辺施設の在り方について考えさせられる視察であった。今後も会派内で継続的に調査研究を行っていきたい。



ストリートスポーツ広場施設について

○山形県の概要

- ・面積 9323.15K m² (平成 30 年 10 月 1 日現在)
- ・人口 1,089,805 人 (平成 30 年 10 月 1 日現在)
- ・世帯数 398,519 世帯 (平成 30 年 10 月 1 日現在)
- ・一般会計予算額 平成 30 年度：6,051 億 4,300 万円
平成 31 年度：6,130 億 9,800 万円
- ・議員定数 44 人
- ・政務活動費（議員一人当たりの月額）280,000 円

○視察事項

スケートパークについて

(1) スケートパーク概要

規模 : 43m×63m 約 2,700 m² 初心者エリア 約 200 m²
構造 : コンクリート造り (t = 15 cm)
共用開始：平成 18 年 4 月 27 日 試験オープン
平成 18 年 6 月 10 日 本オープン
平成 20 年 4 月 5 日 初心者エリアオープン
利用料金：大人 500 円、高校生以下 250 円
営業時間：9 時～21 時
休業日 : 月曜日（祝日及び観光シーズンは営業）
営業期間：4 月 6 日～11 月 24 日
建設費 : 82,00 千円

(2) 施設内容

- ・スケートパーク
スケートボード、インラインスケート、BMX が利用可
設計は AJSA へ年間アドバイザー契約（年 100 万円）もあるため、少額。

(3) 取り組み

元々、地元の愛好家が駐車場や道路で遊んでいたが、地元住民から「危ない」「邪魔だ」等の苦情が寄せられる様になり、市では「いつでも気兼ねなく楽しめるような場を作ること」は青少年の居場所づくりとしてはもちろんの事、地域と共に進めていくことで若者文化への理解を広げていくことができる」と考え、また、公園自体に最も欠如している 10 代から 20 代の若者層の注目を集め、魅力ある中核的存在としての大きな集客効果が見込める事が期待されることから建設される事となる。

設計に関してはアドバイザー契約をしている契約会社他、地元愛好者からも意見を聞きながら設計をした事により、設計費を大幅に抑えることができた。また、管理人においてもスケートボード経験者を配置し、積極的に利用者からの意見を取り入れたり、改修、改善を行っている。

また、初心者向きの場所が当初は無かった事、また、設置の要望もあり平成 20 年に設置。初心者向けの場所については無料で利用が出来るようになっている。

オープンから 13 年経過し、現在の課題としては利用者の減少、経年劣化による修繕が挙げられる。利用者の減少については現在、調査研究中ではあるがコース（セクション構成）のトレンドが変わりやすく、新たなものを整備してもすぐに陳腐化してしまう、遊びで楽しむ方と競技として楽しむ方の意向や利用ターゲットを絞り込むことが難しい点があげられるとの事。

また、NIXS スポーツアカデミー同様、利用中の事故については自己責任として対応をしてもらっているため、事故後の追跡調査も行っていない（利用時に書面でも同意取得あり）

○所感

NIXS スポーツアカデミーに比べ規模的には小さかったが、より競技性の高いコースになっている印象であった。また、NIXS スポーツアカデミーと同様に、初心者向けのパークが後からにはなるがつくられている事で、より多くの方が利用できるように改善が行われていた。

また、パーク内には音楽が流れており、雰囲気はとてもよく、パーク横に休憩所が設けてあり利用されている方もそこで休まれている様子が見られた。そこでのコミュニケーションがパーク内の新しいコースの設置にも役立てられているとの事であった。

実際に開所から 13 年が経過しているため、コンクリート部分の経年劣化が見られてはいたが、所々、改修が行われていたが、全面的な改修が必要と思われる状態ではあった為、これからの改修に向けてどの程度予算が必要なのかも気になる所であった。

今回の視察では 2 か所のスケートボードパークを見学させて頂いたが、両パーク共に当初は利用する愛好者はまだ多くないことを把握していたにも関わらず、愛好者や地域の声を聴きながら建設に至った経緯がみられたが、新たな利用者の獲得のために初心者用コースを造る又は増設をした事を鑑みると、本市で建設する際も初心者用コースは必須と考えるべきだと思われる。

また、山形のパークでは施設管理者にスケートボード経験者を配置する、パーク内に音楽を流し雰囲気づくりを行っている、休憩場所を別に設けている等、利用者に寄り添った運営が強く行われている事を実感した事から、本市においても設計、打ち合わせの時点からもう少し愛好者からの意見の聴取が必要ではないかと感じた。

そして、一番のポイントとしては周辺に何が整備されているかである。NIXS スポーツアカデミーではボルタリングやダンスステージ、山形のスケートボードパークでは総合公園内に設置がされていることにより、一部の利用者だけではなく、多数の利用者の来場が見込める造りになっていたことであった。市税を投入して建設が行われるため、一部の利用者だけではなく市民全体の事も考えながら周辺施設の整備が必須になると改めて感じ取ることができた。

今回の視察を受け、本市におけるスケートボードパーク建設に向け、より市民の皆様へ愛される施設が建設できるように継続して調査研究を進めていく。

